

～ 雛祭り祝い膳 ～



3月3日(土)のお雛祭りの昼食は、春の息吹を感じて頂ける様、彩り豊かな「菜の花ちらし寿司」をお出ししました。茶碗蒸しには旬の筍、炊き合わせにはがんもどき、蒟、人参をあしらいました。桃の節句の祝い膳、皆様のお口に召しましたでしょうか。

～ 4月の趣味の教室～

★ 書道教室【大倉佳子先生】

- 4月 9日(月)
- 4月 16日(月)
- 2階 午後1時30分～

★ 陶芸教室【齋藤勝義先生・梶谷和子さん】

- 4月 27日(金)
- 2階 午後1時30分～

★ 編物教室【梶谷和子さん】

- 4月 3日(火)
- 4月 17日(火)

～ 今後の行事予定～

★ 日本舞踊(富次会)

5月29日(火) 午後1時30分 2階

～ 定例催し物～

★ 音楽会【宮岡久美子さん】

4月 6日(金) 午前10時30分 2階

★ 音楽会【さくら草さん】

4月 5日(木) 午後1時30分 2階
4月 26日(木) 午後1時30分 3階

★ 朗読【権田喜代さん・根岸麗子さん】
【あすなろさん】

4月 12日(水) 午後1時30分 2階
4月 19日(木) 午後3時30分 2階
4月 20日(金) 午後3時30分 2階
4月 25日(水) 午後3時30分 3階

★ 詩吟【佐藤譲先生】

4月 18日(水) 午後1時30分 2階

★ 折紙【田中三枝子さん】

4月 4日(水) 午後1時30分 2階

手芸作品

「お雛様」



介護報酬改定のお知らせ

平成24年4月1日より国の施策によって介護報酬が改定されました。施設の利用料も一部変更となります。ご不明の点等ございましたら受付窓口までお問い合わせ下さい。

編集後記

見開きページをご覧頂けましたか。中庭の河津桜が3月30日に八分咲きとなりました。やがて同じ中庭の山桜がはらはらと花吹雪を舞わすことでしょう。

編集委員 島田ゆかり



いづみのホームページ <http://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>

介護老人保健施設いづみケアセンター



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 873
TEL0493-56-6123 FAX0493-56-6124



「人の為に生きることを旨として」

施設長 内田三千則



今年も桜の季節が巡って来た。春は旅立ちと新たな出会いの季節である。いづみケアセンターでは今年もこの4月に新入職員を迎えた。大学を卒業したばかりの若い職員もいる。当施設の職員は専門家集団である。医師、看護師、准看護師、介護福祉士、介護支援専門員、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、栄養士、調理師等、専門職として国家資格等を保有する職員が施設を支えている。3月には在職する介護職員6名が、努力の甲斐あって新たに介護福祉士資格を手に入れた。

では何故資格が必要なのであろうか。資格を取得する為には多くの知識と高い技術が必要である。しかし知識さえあれば良い、技術さえ習得すれば良いと考える者は、この世界で生きていく事は出来ない。大学や養成校等の教育機関で専門職としての知識や技術を身に付ける為には、多くの手間と時間を必要とする。本人のたゆまぬ努力も求められる。学びの過程は苦しい事も多い。それらを乗り越えてこそ、専門職としての資格が与えられるのである。つまり大切な事は「そうした経験を積み上げた者に対してのみ資格が与えられる」という事である。これから始まる社会人、職業人、専門家としての道は決して平坦ではない。辛く苦しい状況に陥る事も多々あろう。その時こそ資格取得と引き換えに自らが払った代償が活きるのである。有資格者は資格取得における努力の過程の中で、忍耐力、分析力、判断力、決断力等、問題解決に必要な多くの力が培われているのである。専門職に資格が必要な所以である。

さて、東日本大震災から早1年以上が経過した。被災された方々があれほどの苦境の中でも人間性を失わず、秩序を維持し、悲しみに耐えている姿に海外からは驚嘆の声が上がった。これが諸外国であったならば、間違いなく暴動の発生や略奪が横行したという。私は日本人である事を誇りに思う。しかしその勤勉な国民性を以ってしても、被災地の復興は遅々として進んでいない。瓦礫処理が出来ない事がその理由であるという。震災直後に「絆」という言葉が大流行し、熱波の如く被災地支援の後押しをした。だが現在はどうか。瓦礫に含まれる放射能の風評に踊らされ、自らが居住する自治体が瓦礫処理の受け入れを表明しようものならば、住民はこぞって反対に回っている。あれほど「支援支援」と大合唱したにも拘らずである。最近では「絆」という言葉の響きが何と軽々しく感じる事か。本当に被災地の苦しみを理解し援助する気持ちがあるのなら、国民一人一人が何をすべきか、今一度顧みるべき時であろう。

ならば我々は何をすれば良いのであろうか。私は専門家集団として使命感を持ってあらゆる事柄を判断し、行動すれば良いのだと思う。そして苦境に立つ人に必要な援助の手を差し伸べたいと思う。それがこの国で教育を受け、専門職として資格を取得した者の務めであり、国民としての義務でもあろう。「人は人の為に生きてこそ人」である。

施設内の行事

2月3日(金) 節分



「鬼は～外、福は～内！」元気な掛け声が施設内に響き渡り、皆一丸となって赤鬼、青鬼を退治しました。写真は退散した鬼が反省し、謝罪に舞い戻った折の記念撮影です。今年も福の到来、間違いなしですね。

3月14日(水) パターゴルフ大会



3階デイルームを会場に、番館対抗パターゴルフ大会を開催致しました。昔取った杵柄で、皆様大変見事な腕前を披露して下さいました。ナイスショットの連発に、会場は大きな歓声に包まれました。今回の優勝は3階3番館でした。おめでとうございます。



3月29日(木) 春のお茶会



各種ボランティア活動でお世話になっている権田様のグループによる、毎年恒例の「春のお茶会」が開かれました。甘めのお菓子の後に味わうお抹茶の美味しさ……。日本人のおもてなしの心を具現化した伝統文化としての茶道。その奥の深さを、ゆっくりとした時の流れの中で堪能しました。

3月30日(金) お花見



嵐山町の高台の公園へ梅の花見へ出かけました。「東風吹かば匂いおこせよ梅の花……。満開の梅の木の下で、春の訪れを実感しました。高台から見下ろす景色も最高で、利用者様から感嘆の声が上がりました。



2月24日(土) トーンチャイム演奏会



「ドルチェ」さんによるトーンチャイムの演奏会が行なわれました。透き通った音色に皆さんウツトリ。鮮やかな衣装と楽しいトークに笑顔が溢れました。笑う事の素晴らしさを改めて感じました。次回の演奏会が今から楽しみです。

3月16日(金) マンドリン・ギター演奏会



「カプリチオ」さんによるマンドリンとギターの演奏会が催されました。懐かしい昭和歌謡の数々に聞き入りました。メロディーに合わせて歌を口ずさむ方も多く、心豊かな楽しいひと時を過ごさせて頂きました。

通所課文化祭「お茶の子彩祭 2012」



通所課の活動の集大成ともいえる毎年恒例となった「お茶の子彩祭」が3月22日から28日の7日間、開催されました。書道、絵画、ちぎり絵、俳句、つるし雛、折り紙、ネックレス、生け花、押し花等、多種多様な作品が展示されました。男性利用者様による木工作品も年々精巧度が増し、商品として販売可能な程の高い完成度を見せています。正に職人を思わせる技。早くも次の作品作りの話題で盛り上がっています。

施設からのお知らせ

機械浴槽を新しくしました



3月に機械浴槽の入れ替えを行ないました。最新式の浴槽は従前のタイプよりもコンパクトながら機能的で、ゆっくりと入浴が楽しめます。車椅子の方でも温泉気分が味わえると大好評。しかも2台導入で待ち時間も減少。益々入浴が楽しみとなりました。「皆様、どうぞゆっくり。」

滑川町「一般高齢者施策」への協力



2月14日(火曜日)、滑川町コミュニティセンターにおいて「認知症予防」をテーマに教室を開催しました。当施設の売り目玉であるレクレーションワーカー鈴木恵美子が講師を担当し、レクレーションや軽体操を交えて楽しく脳を活性化しました。皆さん元気浚刺で大笑いの場面も沢山あり、一段と若返りました。むしろ笑い皺が気になる位かも……。

埼玉県介護老人保健施設大会



去る2月5日(日)、さいたま市の県民健康センターにおいて「第17回埼玉県介護老人保健施設大会」が開催されました。県の協会に加盟する133施設中、49施設から日頃取り組んでいる事柄に関する研究発表があり、会場は熱気に包まれました。当施設からは内部選考会を経て、入所課2階4番館の井上博之主任が「当たり前視点への回帰～誕生会の在り方を見つめ直して～」というテーマで演題発表を行いました。施設を代表し胸を張って堂々と発表する井上主任の凛々しさと、他施設の追随を許さない充実した内容に、会場から感動のどよめきと賛辞の声が上がりました。

空気清浄機をご寄贈頂きました



町内の工業団地に事業所を構える「株式会社 新生(中田光一社長)」様より、ダイキン社製の空気清浄器を2台ご寄贈頂きました。高性能な最新機種で、インフルエンザや花粉対策にも大きな威力を発揮します。利用者様からも大好評。大切に使用させて頂きます。ご寄贈有難うございました。